

2 広島市の現況

(1) 地域の概要

広島市は広島県西部、瀬戸内海沿岸の中央からやや西よりに位置しています。中国山地を背にしており、山地部が三方から平地部を取り囲んでいます。平地部は、太田川の河口デルタを中心とし、デルタ市街地には6本の河川が流れています。北部に向かっては太田川の本・支流と八幡川沿いに、東部に向かっては、瀬野川沿いに細長く開けています。その他の大部分は、比較的急峻な大小の山が連なる林野でおおわれています。また、南部の広島湾には、多数の島があります。

広島市は、江戸時代から商業活動が活発に行われ、軍都・学都の性格を持った近代都市として発展してきました。しかし、昭和20年(1945年)8月6日、原子爆弾により壊滅的な打撃を受け、多くの人命と町を失いましたが、戦後のめざましい復興により、現在では、人口約119万人を有す、中国・四国地方の経済、文化、行政の中心である中枢都市として発展を続けています。

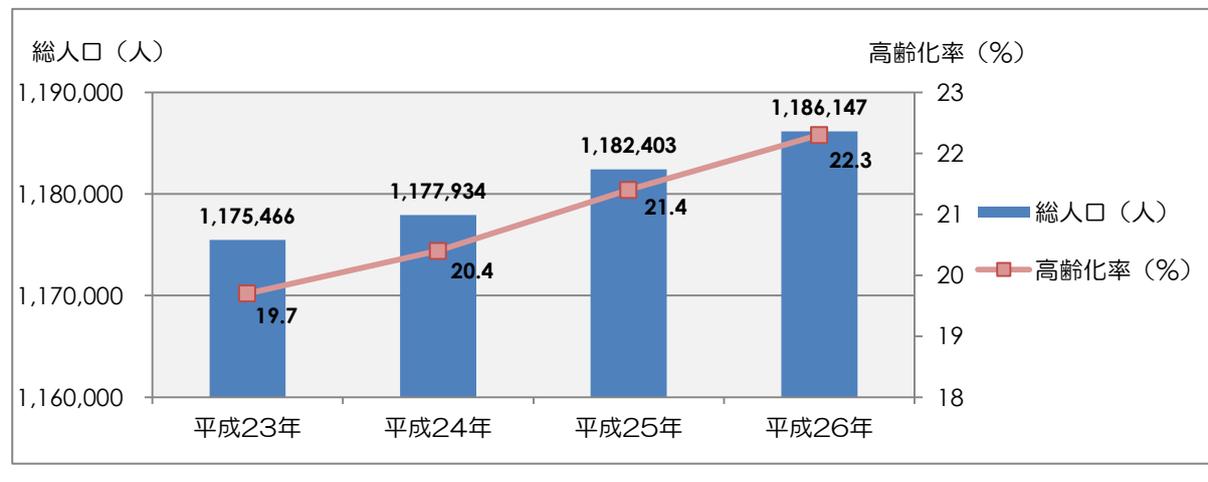
(2) 高齢者、障害者の状況

全国的な少子高齢化の中、広島市においてもその傾向は同様であり、人口の高齢化は急速に進んでいます。本市全域の総人口に対する高齢者数(65歳以上の人口)の割合である高齢化率をみると、平成26年(2014年)3月末時点では22.3%を占めています。

広島市の高齢者人口の推移

	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)
総人口(人)	1,175,466	1,177,934	1,182,403	1,186,147
高齢者人口(人)	231,767	240,335	252,618	264,239
高齢化率(%)	19.7	20.4	21.4	22.3

(数値データは住民基本台帳人口及び外国人登録人口による。)



広島市の身体障害者数は、平成26年（2014年）3月末現在で、42,497人（対総人口比率：3.6%）となっています。また、身体障害者数は年々増加傾向にあり、毎年、前年比約1%程度増加しています。

身体障害者数を年齢別に比較すると、65歳以上の高齢者が最も多く、また、毎年増加していることから、今後も身体障害者の高齢化が予測されます。

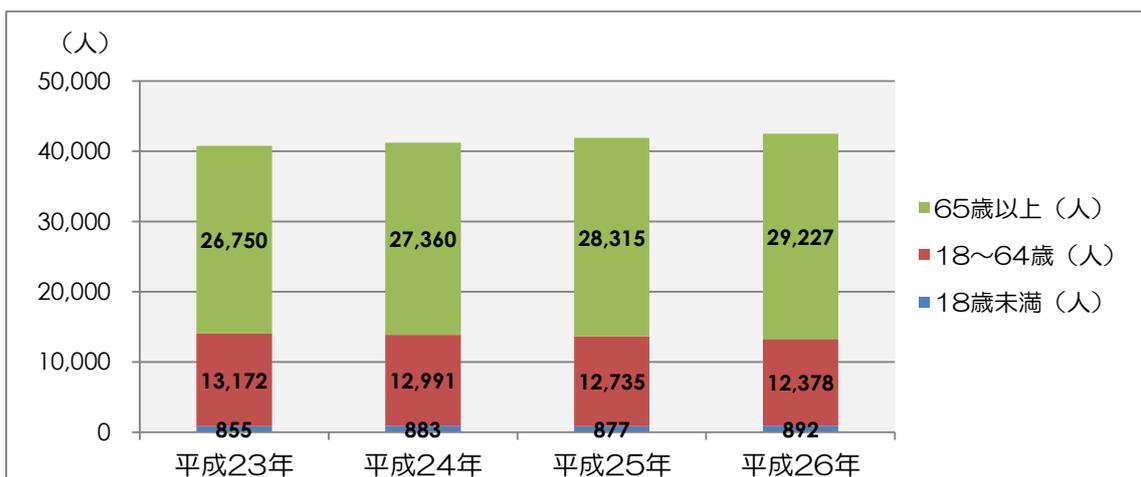
等級別では、重度障害者（1～2級）の割合が一番高く、毎年増加しています。

障害別では、肢体不自由者の割合が一番高く、毎年増加しています。

年齢階層別身体障害者人口推移

	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)
総数(人)	40,777	41,234	41,927	42,497
18歳未満(人)	855	883	877	892
18～64歳(人)	13,172	12,991	12,735	12,378
65歳以上(人)	26,750	27,360	28,315	29,227

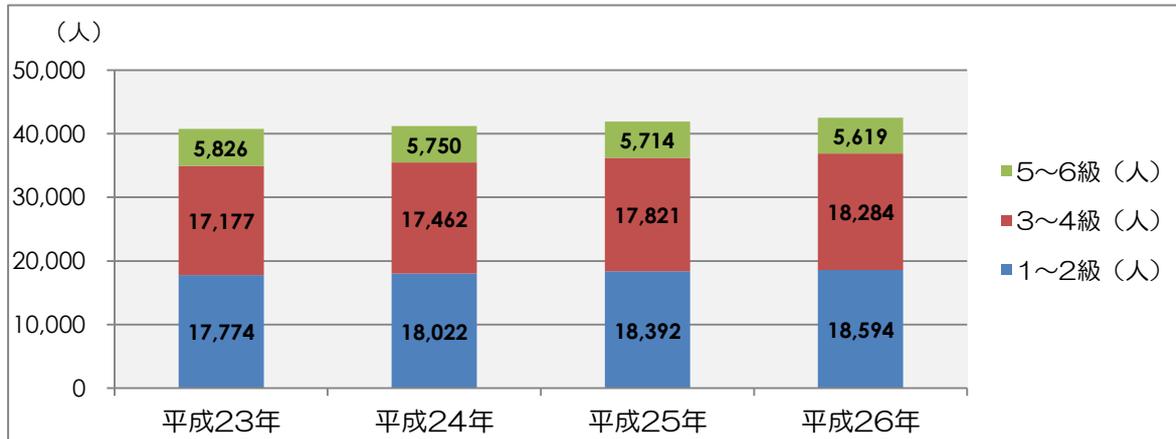
(資料は広島市健康福祉局調べ)



等級別身体障害者人口推移

	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)
総数 (人)	40,777	41,234	41,927	42,497
1～2級 (人)	17,774	18,022	18,392	18,594
3～4級 (人)	17,177	17,462	17,821	18,284
5～6級 (人)	5,826	5,750	5,714	5,619

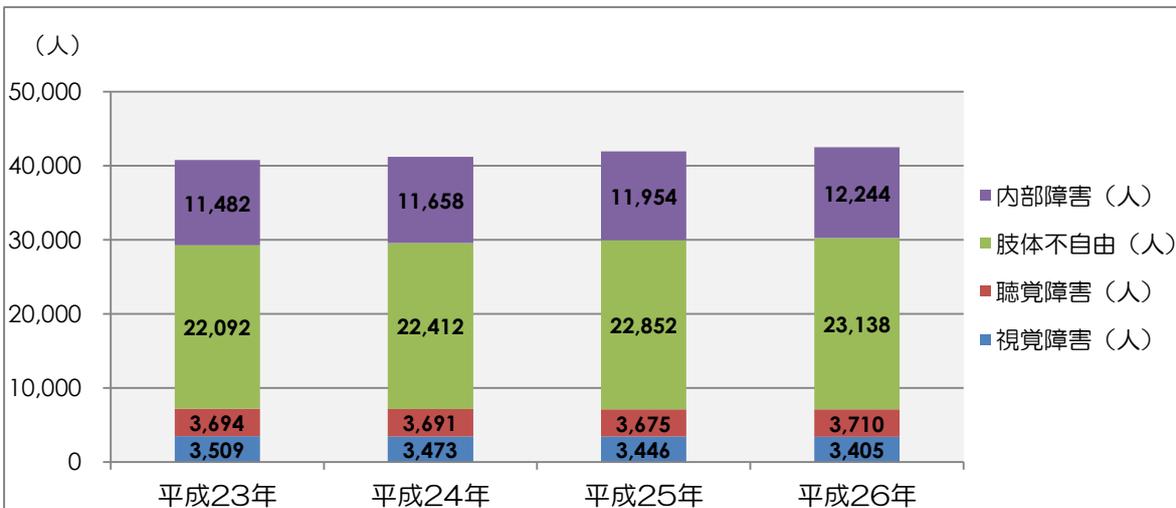
(資料は広島市健康福祉局調べ)



障害別身体障害者人口推移

	平成23年 (2011年)	平成24年 (2012年)	平成25年 (2013年)	平成26年 (2014年)
総数 (人)	40,777	41,234	41,927	42,497
視覚障害 (人)	3,509	3,473	3,446	3,405
聴覚障害 (人)	3,694	3,691	3,675	3,710
肢体不自由 (人)	22,092	22,412	22,852	23,138
内部障害 (人)	11,482	11,658	11,954	12,244

(資料は広島市健康福祉局調べ)



(3) 公共交通機関の現況

ア 交通事情

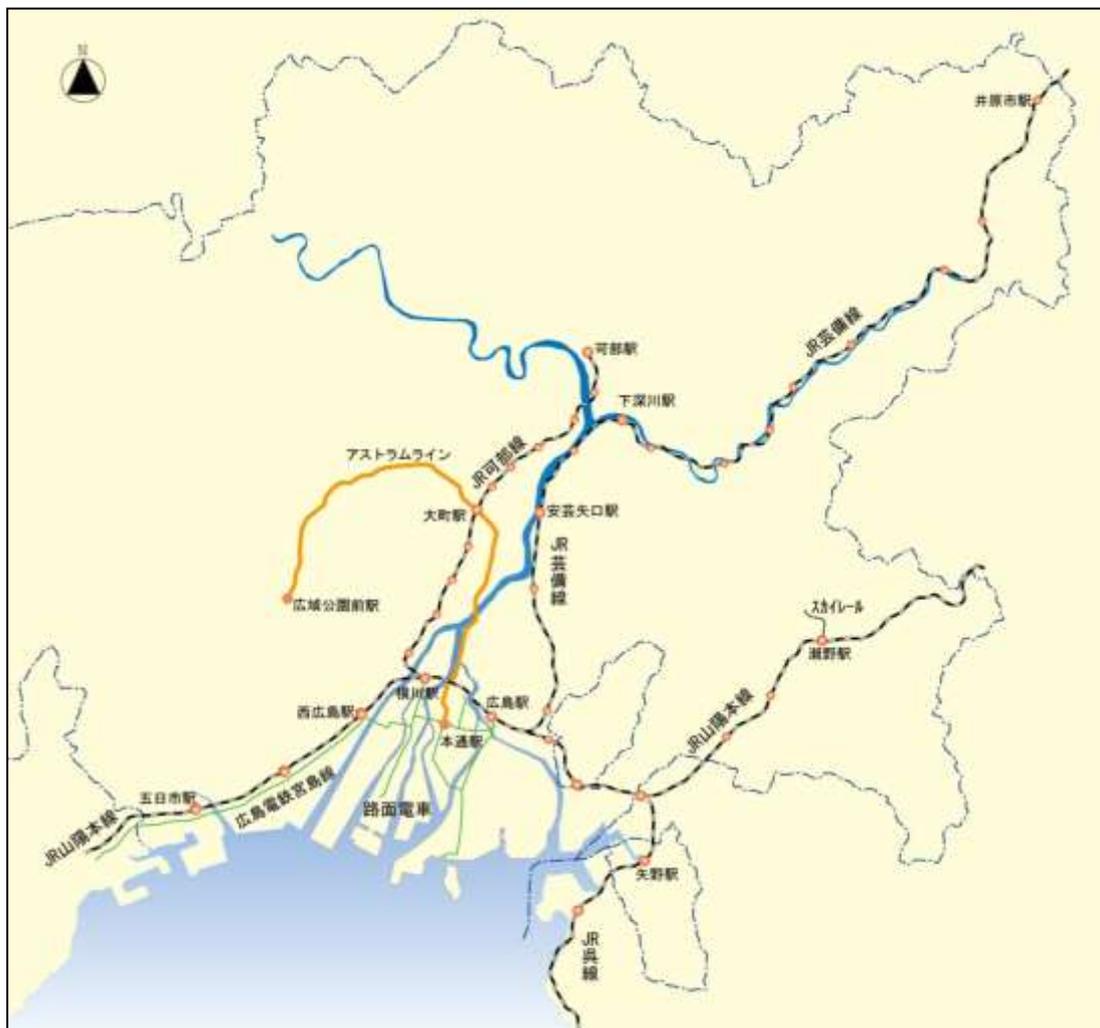
広島市域の都市交通は、広域交通を担う J R（鉄道）のほか、第三セクターが運営するアストラムライン（新交通システム）、民間企業が運営する路面電車やバスなど様々な公共交通機関により形成されています。

このうち、鉄道は、広島駅から東西方向に伸びる J R 山陽新幹線及び山陽本線を中心にネットワークが形成されています。

路面電車は、デルタ市街地にネットワークが形成されており、広島湾の西岸を郊外に伸びる宮島線との直通運行も行われています。運行形態は 8 系統、総営業キロは 19.0km で、その間に 61 ヶ所の電停があり、電停間の距離は約 310m と高密度の配置となっています。

バスは、都心から郊外への放射型の路線網を形成しています。バスの走行を円滑にするため、バス専用レーンの設置などのバス優先対策を実施しています。

アストラムライン（新交通システム）は、都心の中区紙屋町から市北西部地域の拠点である西風新都までの 18.4km で運行しています。



公共交通機関の路線網

イ 低床車両の導入状況

平成 26 年（2014 年）3 月末現在の広島市域の電車・バスへの低床路面電車・ノンステップバスの導入比率は、電車で約 21%、バスで約 28%であり、充分とは言えない状況です。

低床車両の導入状況

区分	全体	低床車両	導入比率
電車	128 編成	27 編成	約 21% ※ 市内を運行する全編成数のうち、低床路面電車の編成数の割合
バス	330 台	91 台	約 28% ※ 主に市内中心部を運行経路とする路線の車両数に対するノンステップバスの割合



低床バス（ノンステップバス）



低床路面電車（グリーンムーバーマックス）

ウ 旅客施設の状況

旅客施設については、バリアフリー法に基づき定められた「移動等円滑化の促進に関する基本方針（平成 23 年 3 月改正）」において、1 日当たりの平均的な利用者数が 3,000 人以上の旅客施設は、平成 32（2020）年度末までのバリアフリー化を整備目標とされています。

広島市内には、JR 各駅や路面電車の停留所、アストラムラインの駅など、約 130 の旅客施設がありますが、次ページの一覧表のとおり、現在 58 施設で 1 日当たり 3,000 人以上の利用者があります。

今後、西日本旅客鉄道㈱においてバリアフリー化に取り組む必要がある駅は、山陽本線の西広島駅、新井口駅上り線、可部線の安芸長束駅、古市橋駅、芸備線の戸坂駅、安芸矢口駅、下深川駅になります。

路面電車及び宮島線の市域内の停留所については、広島電鉄㈱が主体となって、低床車両の導入に伴い、順次バリアフリー化を含む改良を行っています。

また、アストラムラインについては、全駅バリアフリー化されています。

1日当たりの利用者が3,000人以上の旅客施設の現況（乗降客数は平成25年度実績）

区分	路線名	駅名等	乗降客数 (人/日)	EV、ES の有無 (※1)	備考
西日本旅客鉄道(株)	JR山陽本線	瀬野	6,890	○	
		中野東	5,620	○	H21～H22で整備完了
		安芸中野	6,046	○	H21～H22で整備完了
		天神川	19,258	○	
		広島	146,376	○	H14～H16で整備完了
		横川	36,498	○	H17～H18で整備完了
		西広島	18,424	×	駅周辺整備計画に併せ検討
		新井口	15,778	×	H19より整備中
		五日市	26,828	○	H18で整備完了
	JR呉線	矢野	16,228	○	H20.4整備完了
	JR可部線	安芸長束駅	5,274	—	
		下祇園	10,100	—	
		古市橋	3,480	—	
		大町	11,510	○	駅改札は2Fにあり、EVはバスターミナル側
		緑井	5,076	—	
可部		7,118	—		
JR芸備線	下深川	3,458	×		
	安芸矢口	3,998	×		
	戸坂	3,196	—		
広島電鉄(株)	宮島線	高須	3,060	—	
		古江	5,691	—	
		商工センター入口	7,284	—	
		鈴峯女子大前	4,121	—	
		広電五日市	7,656	—	
		楽々園	7,237	—	
	市内線(軌道)	広島駅	26,982	—	
		銀山町	3,050	—	
		胡町	4,761	—	
		八丁堀	14,335	—	
		立町	5,835	—	
		紙屋町東	8,715	—	
		紙屋町西	20,117	—	
		原爆ドーム前	3,073	—	
		十日市町	5,876	—	
		土橋	7,934	—	
		広電西広島(己斐)	23,932	—	

区分	路線名	駅名等	乗降客数 (人/日)	EV、ES の有無 (※1)	備考
		本通	9,695	—	
		中電前	3,270	—	
		市役所前	4,236	—	
		鷹野橋	3,744	—	
		広電本社前	3,537	—	
		皆実町六丁目	5,742	—	
		県病院前	4,336	—	
		横川駅	7,473	—	
広島 高速 交通 (株)	アストラムライン (新交通システム)	本通	19,610	○	
		県庁前	14,176	○	
		白島	3,453	○	
		不動院前	3,513	○	
		祇園新橋北	3,293	○	
		西原	6,209	○	
		中筋	6,586	○	
		古市	3,594	○	
		大町	11,288	○	
		毘沙門台	3,937	○	
		安東	6,570	○	
		上安	4,542	○	
バスターミナル	広島バスセンター	34,545	○	平成 23 年度実績(平日)	
旅客船ターミナル	広島港宇品旅客ターミナル	7,088	—		
合 計			58 施設		

- (※1) ○: 高低差 5m 以上の駅等で、エレベーター、エスカレーターの設置がある
×: 高低差 5m 以上の駅等で、エレベーター、エスカレーターの設置がない
—: 平面駅